

事業所名

プラス・ワン各務原 放課後等デイサービス

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念	子ども一人ひとりの個性と可能性を尊重し、成長を支える環境を提供します。安心して過ごせる場所で、遊びや体験を通じて社会性や自立心を育み、自己表現とコミュニケーション能力を高めることを目指します。また、地域社会とのつながりを大切に、保護者と連携しながら、子どもの未来に向けた支援を行います。			
支援方針	障害児が、住み慣れた地域に安心して暮らし続けることができるよう、その成長に合わせて適切なサービスを継続して提供します。また、遊びや体験を通じて社会性や自立心を育み、自己表現とコミュニケーション能力を高めることを目指します。			
営業時間 (サービス提供時間)	9 時 00 分から 19 時 00) 分まで (14 時 00 分)	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	療育活動例 : ライフスキルトレーニング、買い物学習 等 子ども達の10年後を見据え、就労や日常生活に役立つ活動を立案、実施しています。 「自分でできることを増やす」を目標に、日常生活で必要なスキルを身につけることができるよう丁寧に支援します。		
	運動・感覚	療育活動例 : 運動レクリエーション、感覚統合運動、ビジョントレーニング、外部講師による運動療育、フラワーアレンジメント、マジック(月1回)、工作、リトミック 等 全身を大きく動かす粗大運動や、指先を細かく使う微細運動、五感を使う活動を行っています。 子ども達の「できた!」「もっとやりたい!」を大切にしながら、一人ひとりのステップに合わせて達成感を感じることができるよう支援します。		
	認知・行動	療育活動例 : 学習レクリエーション、英会話、パソコン(タイピング)、買い物学習、脳トレ、学習支援 等 楽しい学びの経験を提供することで、子ども達の能力やスキルを伸ばします。 スモールステップで繰り返し取り組むことで、達成感、自己肯定感を得ることができ、また意欲を育めるように支援します。		
	言語 コミュニケーション	療育活動例 : ソーシャルスキルトレーニング、レクリエーション 等 身近な事柄や自分の気持ちを伝える活動を通して、語彙を増やし、言葉の理解力と表現力を高めます。 活動や遊びを通して、話を聞く力・伝える力を育て、友達とコミュニケーションをとる楽しさを感じることができるよう支援します。		
	人間関係 社会性	療育活動例 : ソーシャルスキルトレーニング、レクリエーション、外出 等 公共の場でのルールやマナーを実践を通して学びます。 相手の気持ちを考える経験や、自分の気持ちをコントロールする練習を積み重ね、その場に合った適切な行動ができるよう支援します。		
家族支援	・連絡帳を用いて、活動の様子や学習の様子を毎回お知らせします。 ・家庭やプラス・ワンでの様子を共有しながら、困り感には適宜助言を行うなど、保護者の気持ちに寄り添い、安心してご利用いただけるよう努めます。	移行支援	それぞれのライフステージに応じて、学校や家庭と支援目標、現在の状況、支援方法を共有しながら、プラス・ワン外でも同じ方向性を持って対応できるよう共通理解を図ります。	
地域支援・地域連携	・相談支援事業所や各学校等と連携を図りながら、切れ目のない継続的な支援をしていきます。 ・地域資源を保護者にも紹介することで活用していただけるようお手伝いさせていただきます。	職員の質の向上	・職場内研修(特性の理解・虐待防止・身体拘束・感染症対策・非常災害対策 等)を月に1回以上行っています。 ・施設外研修にも積極的に参加することでスキルアップを図ります。	
主な行事等 (令和6年度参考)	【春】お楽しみ会、お花見(さくらまつり) 保護者会	【夏】(夏季休業中)水遊び 夏まつり、外出イベント	【秋】秋まつり、外出イベント、 ハロウィンパーティー、運動会	【冬】クリスマス会、初詣、節分の行事 マジックショー

※ 詳しい活動内容は、月々の活動予定表をご覧ください

